



地方で夢を実現したい、農業で田舎暮らしを実現したい そんな方々の支援もあります。

新たに農業を始めたい方へ

新規就農者支援事業

農業従事者の高齢化や後継者不足などによる農業の衰退や耕作放棄地の拡大が懸念されています。

新たな農業担い手を確保することにより、地域農業の振興、活性化を図るという目的で、新たに農業を始める方に**就農補助金**を助成しています。



詳細はこちら

新たに起業したい方へ

創業事業費補助金

起業による雇用の創出、町の活性化、定住促進を図るため、新たに町内で起業する方に**費用の一部**を助成します。



詳細はこちら

REAL VOICE

移住・就農・起業の先輩のお話！

ナンプビト 01 加納 良介さん・可奈恵さん



プロフィール

「次世代を生きるこどもたちのため、おいしくて栄養価の高い野菜をつくりたい。それを家族みんなで楽しんで食べてもらいたい」という想いで農業に取り組む加納夫妻。農家出身ではないお二人は東京で出会い、結婚し、コロナ禍・出産を機に南部町へ移住を決めました。現在は2人の子供を育てながら、さつまいもやにんにく、とうもろこしなど栽培し、町内や全国に販路を拡大しています。また、加納さんの畑で小学生の農業体験や食育活動の場づくりなど、農業を通じた関係づくりや人づくりに積極的に取り組んでいます。

農業を始めたきっかけ

南部町へ移住後、良介さんは「人材サポートなんぶ協同組合」に加入し、1年半農業スタッフとして従事。町内の農家さんからノウハウを学びつつ、宮農大や県内で行われた勉強会に積極的に参加しました。独立後の就農や販売などについて学びつつ、町内の機械屋さんとか販売先等と知り合うことができました。

聞くことが近道に！

インターネットには載っていない情報も多いため、積極的に周りの人に聞くことが悩みや不安を解消できる近道に。相談することで出会えた人・やれることが広がるので気軽に相談してみたいです。

ナンプビト 02 高木 有紀野さん



プロフィール

埼玉県和光市出身で平成26年に南部町に移住。

現在は、京都府出身の夫とともに就農し、「まめきち自然農縁」を運営しながら、達者村ホームステイ連絡協議会メンバーとして南部町での農業体験・農家民泊の受け入れをしています。

イチからの農村生活

移住の動機は農業がしたいということが最初にありました。

現在私たちは人を良くする食べ物を育てたいという思いからオーガニックエコ農業に取り組みながら、自分たちの手に負える範囲で農業を維持していきたいと思っています。

バランスよい環境

都市部の方が引っ越してくるには、南部町の環境はバランスがよく、無理なく暮らすことができます。

一方で、古い文化がそのまま残っている部分もあり、地域の郷土芸能に関わる子どもたちが多いことなども、他の地域にはない魅力だと感じます。

ナンプビト 03 南部町地域おこし協力隊 渡邊 嗣朗さん



プロフィール

2023年5月に地域おこし協力隊として南部町に移住。

長年日本語教育に携わる中で学習環境や情報の地域差を感じていました。異文化交流や日本理解の発展のために国内外での学習機会の裾野を広げる必要性を感じていた中、南部町の協力隊の募集を目にして応募し、協力隊として3年目となります。

南部町を「国際交流のまち」に

現在は南部町に居住している外国籍の住民のための日本語教室の開校・運営、国際交流イベントの企画運営、生活のアドバイスなどを行っています。外国籍住民が南部町での生活を楽しく安全なものにできるよう言語や文化交流の面から支えることが使命だと思っています。

また、多文化共生や地域日本語教室のモデルケースとして知られていき、「南部町で生活したい」と世界中から人が集まってくることが一番の理想です。そのため、教室やイベント運営の基盤を整え、次世代へ向けてさらに発展させていきたいです。

国際交流センター
Facebookはこちら→



安心で快適な「南部ぐらし」

南部町での生活はインフラ面において不安を感じたことはありません。町内バス・鉄道がとおっており、病院・スーパー・学校などの施設も整っています。

また、冬においても積雪も比較的少なく、道路の除雪も丁寧に行われるため、移動に困ることがなかったです。南部町での生活は安心かつ快適に過ごすことができます。